

VOICES



▲竹島



▲ユリカモメ

Q 蒲郡のおすすめスポット
五十嵐さん 市のシンボル「竹島」です。島の奥にある「竜神岬」は、階段を下りた先に目の前いっぱい海が広がります。蒲郡を案内するときには必ず訪れる、お気に入りの場所です！
小出さん 他にも竹島では、潮干狩りや干潟の生き物観察、野鳥との出会いなど、いつ訪れてもさまざまな楽しみに出会えますよ。また、竹島にある八百富神社の珍しい「大大吉」のおみくじにも出会えるかも！

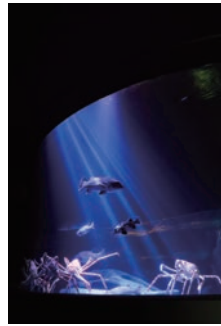


小出さん

蒲郡市役所 秘書広報課
五十嵐さん

蒲郡で働く人に聞く、まちのこと。

Q 蒲郡で食べるなら？
五十嵐さん 蒲郡といえば、やっぱりみかん！一年を通してさまざまな品種を楽しめます。そして深海魚も外せません。私のおすすめはニギスのフライ。クセがなく、身がふわふわでおいしいですよ！
Q おすすめのレジャーは？
五十嵐さん 深海生物の展示種数日本一の「竹島水族館」は、ユニークな手書きの解説パネルが人気です。スタッフが深海生物を実際に食べ、その感想を紹介する「美食レポート」は、嘘偽りのない正直な感想が書かれています、おもしろいです！



▲竹島水族館(深海大水槽)

Q 蒲郡のイベントといえば？

五十嵐さん 蒲郡で一番大きなイベントは「蒲郡まつり」です。フィナーレの花火大会で打ち上げられる「正三尺玉」は、開いたときの直径がなんと650m。大音響とともに開く大輪の花火は圧巻！広報担当の間では「正三尺玉がうまく撮れるようになったら一人前」と代々言い継がれています(笑)。



☆☆



▲正三尺玉

Q 蒲郡ってどんなまち？

小出さん 三河弁というこの地域の方言にも、海と山に囲まれてゆったりとした、温かみのあるまちの雰囲気が出ているように思います。「行こまい(行こうよ)」「おいでん(おいでよ)」など、独特で温かみのある言葉がたくさん。蒲添にはどんな方言があるのか、聞いてみたいです。

Q 蒲添で行ってみたいところ

五十嵐さん カミージーです！蒲郡にも海はありますが、こんなに透明度の高い海ではないので羨ましいです…(笑)。
小出さん 沖縄の伝統芸能の魅力を感じられそうな、蒲添でたこまつりに行ってみたいですね。蒲添三大王統まつりやエイサーなど、迫力がありそう！

50周年に向けて。

これまで以上に市民同士の交流を盛り上げ、若い世代が気軽に参加できる機会も増やしていきたいです。また、両市の交流は職員の事務研修から始まったので、職員同士の交流もできると思います。

TOPIC

つながる 交わる 広がる「サーキュラーシティ蒲郡」

サーキュラーシティってなに？

資源を採掘して生産、消費、廃棄する従来のリニア・エコノミー(直線型経済)から脱却し、廃棄物をなくし資源を循環させる経済システム。それが「サーキュラー・エコノミー(循環型経済)」です。

蒲郡市では、この理念をまちづくりの根幹に据え、全国に先駆けて「サーキュラーシティ」を宣言。「君が愛する蒲郡」を目指し、市民・企業が一体となって持続可能な未来への挑戦を続けています。

蒲添市とのつながり サーキュラーの輪が蒲添へ

「サーキュラーシティ蒲郡」の先進的な取り組みが、ここ蒲添にもつながっています。サトウキビから砂糖を製造した後に残る繊維質の副産物「バガス」。友好都市の企業同士の連携で、これまで十分に活用しきれなかった未利用資源が肌にも地球にも優しいサステナブルな寝具へと生まれ変わりました。



詳しくはこちら▶



Curelabo 株式会社(蒲添市):生地開発/伴装有限公司(蒲郡市):寝具製造/首都株式会社(蒲郡市):商品企画・販売

友好都市・蒲郡で広がるかりゆしの輪



かりゆしウェアを着る蒲郡市役所の皆さん。真ん中に鈴木市長、賛(にえ)副市長。

蒲郡市役所では、蒲添市との友好の証に、毎年5月から10月のクールビズ期間中、毎週火曜日に職員の皆さんがかりゆしウェアを着て業務を行っています。蒲郡市役所が沖縄カラーに染まる火曜日。その心温まる光景は、蒲添市民にとっても蒲郡市を身近に感じられる、かけがえのない架け橋となっています。

非常時にこそ強い、友好の絆。
「災害時の情報発信に関する応援協定」

台風や地震などの自然災害。そんな予測ができない非常時に、ホームページが見られなくなったら…？

この協定は、大規模災害によりウェブサイトのアクセス集中や通信回線の損壊などにより閲覧ができない事態に、蒲添市と蒲郡市、相互のウェブサイト上で被害状況や避難所情報、ライフラインに関する情報等を代行発信する応援協定です。

いざという時のために、ぜひお気に入り(ブックマーク)登録を！



蒲郡市ホームページ▶

蒲郡市 × 蒲添市 共同企画

友好都市提携

45周年

Gamagori x Uragoe

友好関係の始まり

蒲添市と蒲郡市の交流の原点は、1965年(昭和40年)に蒲添市へ愛国知祖之塔が建立されたことにあります。この出来事をきっかけに1981年(昭和56年)には正式に友好都市提携を結び、今年で記念すべき45周年を迎えました。これまで両市は、スポーツや文

化など幅広い分野での市民交流をはじめ、節目の年には行政団が互いの市を訪問し合うなど、確かな友好関係を育んできました。今回の特集では、蒲郡市と蒲添市のつながりや蒲郡市の先進的な取り組み、魅力について紹介します。※愛国知祖之塔：第二次世界大戦で亡くなった愛知県出身の将兵の霊を祭る慰霊塔。

Message

ひさあき
蒲郡市長 鈴木 寿明

昭和56年に友好都市提携の調印を行ってから、今年で45年となります。現在まで、本市と蒲添市ではスポーツ・文化交流など活発な市民交流を行ってまいりました。友好都市提携40周年の際は、新型コロナウイルス感染症拡大のため、直接交流することは叶いませんでした。今年度はたこまつりにて本市のPRをさせていただくことができました。今後も様々な交流を通じて、文化や人々の交流をより深めてまいります。



蒲添市長 松本 哲治

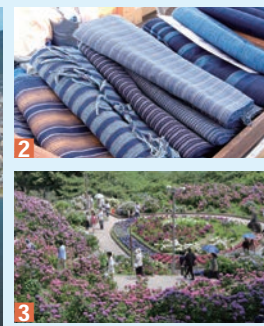
蒲郡市と本市は、昭和37年に蒲添城跡内へ「愛国知祖之塔」を建立したことを契機に交流が始まり、昭和56年の友好都市提携以来、スポーツや文化など幅広い分野で親交を深めてまいりました。45周年という節目を迎えられたことを大変喜ばしく思うとともに、長年にわたり両市の友好を支えてこられた関係者の皆様に心から感謝申し上げます。今後も両市のさらなる発展に向け、友好の絆を大切にしながら交流を重ねてまいります。



がまごおりってどんなところ？



1 蒲郡市。南は穏やかな三河湾、北は緑の山々に囲まれた、自然豊かなまちです。2 1200年以上の歴史を持つ三河木綿。美しい縦縞模様が特徴。3 5万株のアジサイが咲き誇る「あじさい祭り」。4 蒲郡市のみかん。地域団体商標(地域ブランド)に登録されています。



愛知県 蒲郡市

■人口: 76,265人(令和8年10月1日現在)
■面積: 56.96km²

蒲郡市は、本州のほぼ中心に位置し、国の天然記念物「竹島」をはじめ、三河湾に面し、美しい景色があふれるまちです。愛知県有数の温泉郷で、多くの温泉宿やリゾート施設があります。また映画やドラマのロケ地としても有名です。

かまごおりナビ
一般社団法人蒲郡市観光協会公式サイト

蒲郡の魅力を見つける！
オフィシャル観光サイト

